



# フレッド和田勇物語

1964年の東京オリンピック開催を  
情熱で実現した人

## あ ら す じ

昭和39年、東京で初めて開かれたオリンピック。その成功の裏側には「何としても日本でオリンピックを！」という強い思いで活動していた人がいました。それが、フレッド和田勇です。

勇はアメリカ・ワシントン州で食堂を営む日本人の両親のもとに生まれました。しかし、貧しさのため、4歳のとき一人だけ祖父母のいる和歌山県に預けられます。9歳になり再びアメリカに戻り、農園の住み込みや牛乳配達など必死に働きながら学校に通いました。その後、作物の小売りの仕事で頭角を現し成功をおさめます。

しかし、そんな時に第二次世界大戦が勃発。日本人は収容所に送られ、ユタ州で荒地を開拓することになりました。

戦争が終わって4年後、ロサンゼルスで全米水泳大会が開催されることが決定し、そこに出場する日本人選手を自宅に迎え入れます。それがきっかけで、昭和34年。米国日系人でただひとり東京オリンピック準備招致委員会委員に選ばれます。そして、日本政府に代わり、自費でヨーロッパや中南米の国際オリンピック委員を訪問。東京オリンピック昭和39年開催実現の協力を要請して各国を巡り、開催に大きく貢献しました。敗戦で打ちのめされた日本人は、東京オリンピックによって勇気づけられ、復興への大きな原動力になりました。

## DVDをより深く子どもたちが理解し、考える力をつけるために

視聴後に、簡単な声掛けや感想を書く事で、子どもたちの理解はより一層深まり、考える力が身に付きます。

- (1) キミはオリンピックをテレビで見ましたか？  
オリンピックを見て、どんな気持ちになりましたか？
- (2) 勇は日本とアメリカが戦争しているとき、つらい思いをしました。  
キミは「戦争」からどんなことを思い浮かべる？
- (3) 勇は、自分のお金を使って色んな国をまわり、日本でオリンピックが開けるようにがんばりました。どうして、日本でオリンピックを開きたかったのだらうと思いますか。
- (4) キミは、将来どんなことをやりたい？  
そして、それをやり遂げるためには何が大切だと思う？
- (5) 「私はこんな風に思った」「私はここが面白かった」など、  
お友達といろんな話をしてみましょう。  
また、おうちの人にもDVDで見たことを教えてあげましょう。

